

# 会 議 議 事 録

会議の 名 称	生命倫理委員会	日 時	平成31年 1月17日(木)16:30~16:45
		場 所	治験管理室内会議室
出席者	委員長：大江田臨床研究部長 副委員長：柳田統括診療部長 委 員：澤田副院長、内炭救急部長（欠）、白石小児科医長、 須藤神経内科医長（欠）、村上企画課長、小林外部委員、松田外部委員、 濱田看護部長、前田看護師長 (書記)庶務係長		
議 題 及 び 討 議 事 項			
<p>1. 新規申請課題及び大きな変更点がある承認済み議題の変更申請</p> <p>①受付番号：30-12</p> <p>課 題 名：オーダーメイドの気管切開チューブの有用性に関する検討</p> <p>申 請 者：小児科医師 鈴木 理恵</p> <p>研究期間：平成31年2月1日~平成32年3月31日</p> <p>委員会は、守秘義務の保障、個人情報保護、匿名化及び研究参加の任意性、同意しないことで不利益を受けない、ICの撤回によっても不利益を受けないことを確認しました。また、下記のとおり質問及び意見がありました。</p> <p>(質問内容及び意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の被験者に新規入院患者は想定していないか。</li> </ul> <p>⇒していない。データについては、既存のもののみを使用する。そのため、オプトアウトとしてHPに情報公開文書を掲載する。また、別に研究内容の発表を行う旨を説明し、口頭同意を得ることとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オーダーメイドの気管切開チューブを購入した会社との利益相反の状況については、利益相反委員会に既定の様式で報告すること。</li> </ul> <p>(結果)</p> <p>承認とする。</p> <p>2. 迅速審査等報告</p> <p>①受付番号：30-11</p> <p>課 題 名：在宅医療・介護連携推進（特に多職種連携）に関する調査研究事業</p> <p>申 請 者：看護部長 濱田 智子</p> <p>研究期間：平成31年1月15日~平成31年1月25日</p> <p>結 果：当該研究は株式会社三菱総合研究所が老人保健事業推進費等補助金によって行う退院時アンケート調査であり、当院はその協力施設である。今回は、研究の許可申請であるが、当該研究では調査対象となる患者の個人情報は収集せず、提出方法は専</p>			

用の返信封筒で、直接株式会社三菱総合研究所に提出すること、また、調査開始までの期間が短いことから書面審査とし、承認された。

②受付番号：29-01-09

課題名：視神経脊髄炎の再発に対するリツキシマブの有用性検証試験の継続投与試験(RIN-2試験)

申請者：リハビリテーション科医長 田原 将行

研究期間：平成28年10月1日～平成31年3月31日

結果：研究費支出を当院臨床研究部から全薬工業株式会社に変更。また、研究計画書の軽微な語句修正を行い、承認された。

3. その他

特になし